

コミュニティカレッジのリメディアル授業受講学生の多くは、受講後も大学レベルの授業履修準備が不十分 (2月23日)

コミュニティカレッジ学生関与センター (Center for Community College Student Engagement : CCCSE) は、コミュニティカレッジ学生が受講するリメディアル (補習) 授業の実態に関する報告書「期待が現実に出会う ～準備不十分の学生とコミュニティカレッジ～ (Expectations Meet Reality: The Underprepared Student and Community Colleges)」を発表した。これによると、学生の大半は大学レベルの学力準備ができておらず、さらには、リメディアル授業を受講しても大学レベルの授業履修準備ができていないことが明らかにされた。また、学生自身の学力レベルに関する自己認識も不適正で、多くの学生が大学レベルの学習準備ができていないにもかかわらず、準備ができていると考えていることも判明した。同報告書は、リメディアル教育アプローチの成功例を取り上げており、高校での成績、大学でのクラス分け試験、大学単位取得の有無など、複数の評価手段を導入している事例などが紹介されている。CCCSE ディレクターのエブリン・ウェイワイオール氏 (Evelyn Waiwaiole) は、リメディアル授業の再編は、コミュニティカレッジにとって緊急の優先課題であると提言している。

なお、本報告書は、<http://www.ccsse.org/docs/Underprepared_Student.pdf>からダウンロード可能。

Inside Higher ED, Experiencing Developmental Education

<https://www.insidehighered.com/news/2016/02/23/broad-study-community-college-students-who-take-developmental-education-courses>